

2019年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
01010102

1. 計画名称

茅野市高齢者保健福祉計画(一般会計分)

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	第6期茅野市高齢者保険福祉計画の推進において、各施策に基づく主な事業は、おおむね実施できている。
今後の重点化施策番号	1	説明	在宅介護の推進において、行政は、在宅介護がしやすい環境づくりを進める必要がある。さらに、地域の見守り体制の整備と併せ、高齢者の移動手段が課題となっているため、施策4の推進とも関連付けて、住民主体の移動サービスの体制づくりに向け、具体的な支援策を検討していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	生活基盤・セーフティーネットの整備による在宅福祉の推進	おおむね順調	前年度の地域ケア会議で課題とされた高齢者の移動手段については、今年度に福祉21茅野の部会再編と併せて「外出支援」のワーキンググループが立ち上がり検討が始まった。さらに、市では「新地機公共交通検討会議」を設置し、市全体の移動手段について検討が始まった。	茅野市の高齢者人口は例年増加傾向にあるが、茅野市社会福祉協議会が事業受託している「外出支援サービス」の利用登録者は、前年度を下回る状況となっている。	外出支援サービスについては、茅野市社会福祉協議会と連携するとともに、事業のPRを強化していく。外出支援のワーキンググループにおいては、新地域公共交通検討会議の状況も踏まえ、「交通弱者」に必要な外出支援を検討していく。
2	健康増進による介護予防の推進	おおむね順調	特定健診及び高齢者の健康診査の受診促進を強化し、受診率の向上につなげることができた。介護予防事業の地区運動教室では、新たに2つの区が運動教室を開始した。 (参考) 2018年度48箇所 2019年度50箇所	医療と介護予防の連携事業の推進が求められており、今後も健診受診率を上げるとともに、介護予防事業を継続していく必要がある。	保健事業と介護予防事業を一体的に実施していく。
3	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進	おおむね順調	高齢者のいきがい対策事業、高齢者クラブの活動支援、高齢者の通いの場の形成推進、介護予防事業等を実施。 いきいき健康ルームの各種教室は、年々人気が高まり、多くの方に参加いただいている。	いきいき健康ルームの参加者の増加に伴い、定員を上回ってしまう講座も発生してきている。	各地域において、新たな介護予防事業を展開していく。 いきいき健康ルーム事業の定員オーバーの課題については、今後の実施方法等を検討し、新たな態勢で実施していく。
4	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	おおむね順調	保健福祉サービスセンターとの連携による認知症初期集中チームの活動をはじめ、社会福祉協議会とも連携して各種事業を実施。介護保険サービスを補う「ふれあい保健福祉事業」も継続実施し、利用者へのサービスの提供を行った。	生活支援体制整備事業において、地域住民が集まる場も推進しているが、地域によっても温度差があり、事業の進捗状況に差が開き始めている。	生活支援体制整備事業の推進を継続して重点的に進め、福祉21茅野のワーキンググループとも関連性を持たせ、地域の課題解決につなげていく。
5	権利擁護の取組と支援	おおむね順調	新たに介護相談員2名を委嘱し増員した。 成年後見支援事業においては、裁判所への市長申立(保佐開始申立1件)及び後見人への年報酬の助成(2件)を実施した。	成年後見制度の活用における諏訪地域6市町村の共通課題として、成年後見人の候補者の擁立が難しい状況になってきている。	成年後見人の候補者擁立の課題については、諏訪地域6市町村の共通の課題であることから、6市町村で連携して関係者と検討を進めていく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		